



## 2024年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年12月1日

上場会社名 株式会社伊藤園 上場取引所 東  
コード番号 2593 URL <https://www.itoen.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本庄 大介  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 平田 篤 (TEL) 03-5371-7197  
四半期報告書提出予定日 2023年12月14日 配当支払開始予定日 2024年1月15日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年4月期第2四半期の連結業績（2023年5月1日～2023年10月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期第2四半期	242,527	6.7	17,046	50.4	18,089	44.2	11,209	41.5
2023年4月期第2四半期	227,262	8.9	11,335	4.4	12,548	11.0	7,923	2.2

(注1) 包括利益 2024年4月期第2四半期 13,382百万円 (27.2%) 2023年4月期第2四半期 10,519百万円 (21.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年4月期第2四半期	91.01	90.82
2023年4月期第2四半期	64.14	64.01

(注2) 上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年4月期第2四半期	353,714	182,932	51.3
2023年4月期	338,774	172,128	50.4

(参考) 自己資本 2024年4月期第2四半期 181,340百万円 2023年4月期 170,589百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年4月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2024年4月期	—	21.00	—	—	—
2024年4月期（予想）	—	—	—	21.00	42.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 上記の配当の状況は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る配当の状況については、以下（参考）をご覧ください。

### 3. 2024年4月期の連結業績予想（2023年5月1日～2024年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	450,000	4.2	23,200	18.4	24,200	19.0	14,700	14.1	119.00

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注2) 上記の連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については、以下（参考）をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細については、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年4月期2Q	89,212,380株	2023年4月期	89,212,380株
② 期末自己株式数	2024年4月期2Q	942,578株	2023年4月期	976,571株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年4月期2Q	88,249,451株	2023年4月期2Q	88,220,661株

(注) 上記の発行済株式数は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る発行済株式数については、以下(参考)をご覧ください。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)

(1) 第1種優先株式に係る1株当たり情報(累計)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年4月期第2四半期	97.02	96.83
2023年4月期第2四半期	69.14	69.01

(2) 第1種優先株式に係る配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年4月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2024年4月期	—	27.00			
2024年4月期(予想)			—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

(3) 第1種優先株式に係る連結業績予想の1株当たり情報

	1株当たり当期純利益
	円 銭
通期	131.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

(4) 第1種優先株式に係る発行済株式数

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年4月期2Q 34,246,962株 2023年4月期 34,246,962株

② 期末自己株式数

2024年4月期2Q 1,442,285株 2023年4月期 1,489,535株

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年4月期2Q 32,757,260株 2023年4月期2Q 32,759,180株

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行による人流回復や雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の増加等により緩やかな回復の動きが見られた一方で、エネルギー価格、原材料費の高止まりや急速な円安進行など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは経営理念であります「お客様第一主義」のもと、当社グループを取り巻く全てのお客様に対し「今でもなお、お客様は何を不満に思っているか」を常に考え、一丸となって積極的な事業活動を行ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、以下のとおりとなりました。

売上高	2,425億27百万円	(前年同期比6.7%増)
営業利益	170億46百万円	(前年同期比50.4%増)
経常利益	180億89百万円	(前年同期比44.2%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	112億9百万円	(前年同期比41.5%増)

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### <リーフ・ドリンク関連事業>

当社では、1989年発売以来の累計販売本数が400億本を突破するなど、多くの方にご支持をいただいている「お〜いお茶」ブランドのさらなる価値向上を図っています。

10月1日の「日本茶の日」にあわせて、全国各地からお茶の魅力やおいしさ、楽しさをお届けすることで茶文化をより身近に感じていただく大型イベント「日本茶の日 お〜いお茶大茶会」を、全国47都道府県の約400カ所で開催しました。お茶の振る舞いやお茶を通じた様々な体験によりお客様にお茶の魅力やおいしさ、楽しさなどの「お茶」が持つ多くの価値をあらためてお伝えしました。

10月に「お〜いお茶」ブランド史上最高の「濃さ」を実現した機能性表示食品「お〜いお茶 MATCHA SHOT」を新発売しました。当製品はBMIが高めの方の体脂肪を減らす・BMIを改善する「ガレート型カテキン」と、年齢とともに低下する認知機能の一部である注意力・判断力の精度を高める機能が報告されている「テアニンと茶カテキン」を含有しています。

また、同月、同ブランドより機能性表示食品「お抹茶入り お〜いお茶」を新発売しました。当製品は一過性の作業にともなうストレスをやわらげる機能がある機能性関与成分「L-テアニン」を含有し、緑茶と抹茶のうまみを際立たせて継続的な飲用に好適な味わいに仕上げたお抹茶入り緑茶飲料です。これら製品の販売を通じて、お茶の健康価値とおいしさをお伝えするとともに、お客様の健康をサポートしてまいります。

9月には、スペシャルティコーヒーショップ「タリーズコーヒー」で味わうようなおいしさでご好評をいただいている「TULLY'S COFFEE」ブランドから、希釈タイプの飲料「TULLY'S COFFEE ESPRESSO BASE 無糖」「同 甘さひかえめ」を新発売しました。当製品は香り高く豊かな風味が特長のコーヒー豆を使用したエスプレッソをベースに、圧倒的なコクと香りを感じる希釈コーヒー飲料です。当社は、今後も多様化するライフスタイルや、嗜好・飲用シーンに対応した製品を提案し、「TULLY'S COFFEE」ブランドのさらなる価値向上を図ってまいります。

脱炭素に向けた取組みの一環として飲料製品などを積載する営業車“ボトルカー”に、いすゞ自動車株式会社の小型電気トラック「ELF EV」を採用し、荷室に茶殻配合軽量パネルを装備した業界初のユニークな「EVボトルカー（茶殻配合軽量パネル搭載型）」を、本年10月より順次導入を開始しました。当社は地域密着型営業のビジネスモデルを採用しており、約3,350台の車両（ボトルカーを含む）を使用しています。これまで車両によるCO2排出量削減の取組みとして、エコドライブの徹底やルート効率の向上に努めてきましたが、今後は積極的に「EVボトルカー」の導入を進め、地球環境の課題解決と企業価値向上の両立に取組んでまいります。

この結果、リーフ・ドリンク関連事業の売上高は2,190億24百万円（前年同期比5.7%増）となり、営業利益は154億6百万円（前年同期比49.7%増）となりました。

#### <飲食関連事業>

タリーズコーヒージャパン(株)におきましては、季節を彩るビバレッジとして、旬の素材を使用した「ほっこりOIMOラテ」「OIMOティーシェイク」「和栗モンブランラテ」「和栗モンブラン抹茶シェイク」を販売しました。いずれも大変ご好評をいただき、好調に推移しました。また、9月には同社の経営理念のひとつである“子どもたちや青少年の成長を促すために、夢や目標のお手伝いをする”に基づき、絵本作家の発掘・支援をし、読者である子どもたちへ夢や希望を届けたいという思いから始めたプロジェクトの「タリーズ ピクチャーブックアワード」受賞作品を絵本として発売しました。新規出店に関しては、紅茶に特化した業態である

「&TEA」を24店舗に拡大しました。2023年10月末の総店舗数は777店舗となっております。

この結果、飲食関連事業の売上高は196億29百万円（前年同期比15.7%増）となり、営業利益は17億94百万円（前年同期比34.4%増）となりました。

<その他>

売上高は38億74百万円（前年同期比24.8%増）となり、営業利益は1億66百万円（前年同期比381.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は次のとおりであります。

総資産は3,537億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ149億39百万円増加いたしました。これは主に、「現金及び預金」が99億55百万円増加、「売掛金」が37億52百万円増加、「原材料及び貯蔵品」が16億15百万円増加、「商品及び製品」が31億82百万円減少したことによるものです。

負債は1,707億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億35百万円増加いたしました。これは主に、「買掛金」が19億23百万円増加、「未払法人税等」が17億25百万円増加したことによるものです。

純資産は1,829億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ108億4百万円増加いたしました。これは主に、「親会社株主に帰属する四半期純利益」により「利益剰余金」が112億9百万円増加、「剰余金の配当」により「利益剰余金」が25億83百万円減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、188億89百万円の収入（前年同期は107億72百万円の収入）となりました。これは主に、増加要因として税金等調整前四半期純利益173億4百万円、減価償却費41億99百万円、棚卸資産の減少額30億85百万円、仕入債務の増加額15億97百万円であるのに対し、減少要因として売上債権の増加額が30億71百万円、法人税等の支払額41億66百万円があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、50億53百万円の支出（前年同期は40億58百万円の支出）となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出52億87百万円があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、53億52百万円の支出（前年同期は48億42百万円の支出）となりました。これは主に、ファイナンス・リース債務の返済による支出10億31百万円、配当金の支払25億80百万円があったことによるものです。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は1,105億96百万円となり、前連結会計年度末と比べ96億97百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月期通期の連結業績予想につきましては、2023年11月29日の「業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ」で公表いたしました予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	104,181	114,136
受取手形	75	111
売掛金	60,120	63,873
商品及び製品	44,767	41,584
原材料及び貯蔵品	12,880	14,495
その他	12,650	13,656
貸倒引当金	△281	△331
流動資産合計	234,393	247,527
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,093	22,296
土地	22,979	23,229
リース資産(純額)	6,075	5,398
その他(純額)	21,857	22,555
有形固定資産合計	72,005	73,479
無形固定資産		
のれん	2,528	1,997
その他	5,742	6,062
無形固定資産合計	8,270	8,060
投資その他の資産		
その他	24,215	24,767
貸倒引当金	△110	△120
投資その他の資産合計	24,105	24,647
固定資産合計	104,381	106,186
資産合計	338,774	353,714
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	29,958	31,881
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
短期借入金	2,743	1,737
リース債務	2,135	1,885
未払費用	29,519	30,509
未払法人税等	4,367	6,092
賞与引当金	4,296	4,814
その他	6,206	7,060
流動負債合計	89,226	93,982
固定負債		
長期借入金	58,210	59,467
リース債務	3,662	3,063
退職給付に係る負債	10,810	8,031
その他	4,736	6,235
固定負債合計	77,419	76,798
負債合計	166,646	170,781

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,912	19,912
資本剰余金	18,558	18,551
利益剰余金	138,827	147,453
自己株式	△6,911	△6,680
株主資本合計	170,386	179,236
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,693	1,803
土地再評価差額金	△6,053	△6,053
為替換算調整勘定	4,132	6,044
退職給付に係る調整累計額	429	310
その他の包括利益累計額合計	202	2,104
新株予約権	134	118
非支配株主持分	1,404	1,473
純資産合計	172,128	182,932
負債純資産合計	338,774	353,714

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)
売上高	227,262	242,527
売上原価	142,051	148,156
売上総利益	85,211	94,371
販売費及び一般管理費	73,875	77,325
営業利益	11,335	17,046
営業外収益		
受取利息	79	200
受取配当金	57	51
持分法による投資利益	65	115
為替差益	842	713
その他	543	316
営業外収益合計	1,589	1,397
営業外費用		
支払利息	263	236
その他	113	117
営業外費用合計	376	354
経常利益	12,548	18,089
特別利益		
固定資産売却益	2	1
固定資産受贈益	0	16
投資有価証券売却益	—	15
特別利益合計	3	34
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産廃棄損	128	98
投資有価証券評価損	0	—
減損損失	244	639
退職給付制度改定損	—	80
特別損失合計	373	818
税金等調整前四半期純利益	12,178	17,304
法人税等	4,077	5,884
四半期純利益	8,101	11,420
非支配株主に帰属する四半期純利益	177	210
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,923	11,209

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)
四半期純利益	8,101	11,420
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	171	216
為替換算調整勘定	2,233	1,953
退職給付に係る調整額	11	△119
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△87
その他の包括利益合計	2,418	1,962
四半期包括利益	10,519	13,382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,276	13,111
非支配株主に係る四半期包括利益	243	271

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	12,178	17,304
減価償却費	5,185	4,199
減損損失	244	639
のれん償却額	537	539
賞与引当金の増減額(△は減少)	236	517
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	244	△3,031
受取利息及び受取配当金	△136	△252
支払利息	263	236
為替差損益(△は益)	△519	△475
固定資産廃棄損	128	98
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△15
退職給付制度改定損	—	80
売上債権の増減額(△は増加)	△2,357	△3,071
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,916	3,085
その他の流動資産の増減額(△は増加)	1,715	△883
仕入債務の増減額(△は減少)	△407	1,597
未払消費税等の増減額(△は減少)	125	79
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△283	1,092
その他の固定負債の増減額(△は減少)	83	1,401
その他	90	△88
小計	15,413	23,053
利息及び配当金の受取額	139	239
利息の支払額	△263	△237
法人税等の支払額	△4,516	△4,166
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,772	18,889
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△596	△79
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,427	△5,287
投資有価証券の取得による支出	△110	△0
投資有価証券の売却による収入	1	28
投資その他の資産の増減額(△は増加)	75	285
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,058	△5,053
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△365	△810
長期借入金の返済による支出	△707	△707
自己株式の取得による支出	△1	△2
自己株式の処分による収入	0	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,175	△1,031
配当金の支払額	△2,581	△2,580
非支配株主への配当金の支払額	△4	△212
その他の支出	△8	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,842	△5,352
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,351	1,215
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,222	9,697
現金及び現金同等物の期首残高	94,471	100,899
現金及び現金同等物の四半期末残高	97,694	110,596

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計上の見積りの変更)

当社グループが保有するリース資産並びに有形固定資産のその他に含まれている工具、器具及び備品のうち、自動販売機については、従来、耐用年数を8年として減価償却を行ってきましたが、第1四半期連結会計期間において、耐用年数を10年に見直し、将来にわたり変更しております。

当社グループでは、自動販売機の性能向上及び定期的な保守の実施等の結果、第1四半期連結会計期間において、従来の耐用年数と経済的使用可能予測期間との乖離が顕在化いたしました。これにより、10年にわたって費用配分することが当社グループの実態をより適切に反映できると判断しております。

この変更により、従来と比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ787百万円増加しております。

なお、セグメント情報に与える影響については、(セグメント情報等)に記載しております。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自2022年5月1日至2022年10月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ドリンク 関連事業	飲食関連事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	207,195	16,962	3,104	227,262	—	227,262
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	253	1	1,409	1,664	△1,664	—
計	207,448	16,963	4,513	228,926	△1,664	227,262
セグメント利益	10,293	1,334	34	11,663	△327	11,335

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△494百万円、セグメント間取引167百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自2023年5月1日至2023年10月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	合計
	リーフ・ドリンク 関連事業	飲食関連事業	その他	合計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	219,024	19,629	3,874	242,527	—	242,527
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	279	0	1,301	1,581	△1,581	—
計	219,303	19,630	5,175	244,109	△1,581	242,527
セグメント利益	15,406	1,794	166	17,367	△321	17,046

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれんの償却額△494百万円、セグメント間取引173百万円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計上の見積りの変更)に記載のとおり、当社グループが保有するリース資産並びに有形固定資産のその他に含まれている工具、器具及び備品のうち、自動販売機については、耐用年数を8年から10年に見直し、将来にわたり変更しております。

この変更に伴い、従来の方法と比較し、リーフ・ドリンク関連事業の当第2四半期連結累計期間のセグメント利益は、787百万円増加しております。